

企画展

「一の坂遺跡と巨大住居」

—大型住居のナゾにせまる!!—

期間 5月1日より7月31日まで

趣旨

米沢市一の坂遺跡は、全長43.5mのロングハウスで、6000年以前の縄文時代前期の社会のあり方を考える上で、全国的に注目される大発見であった。

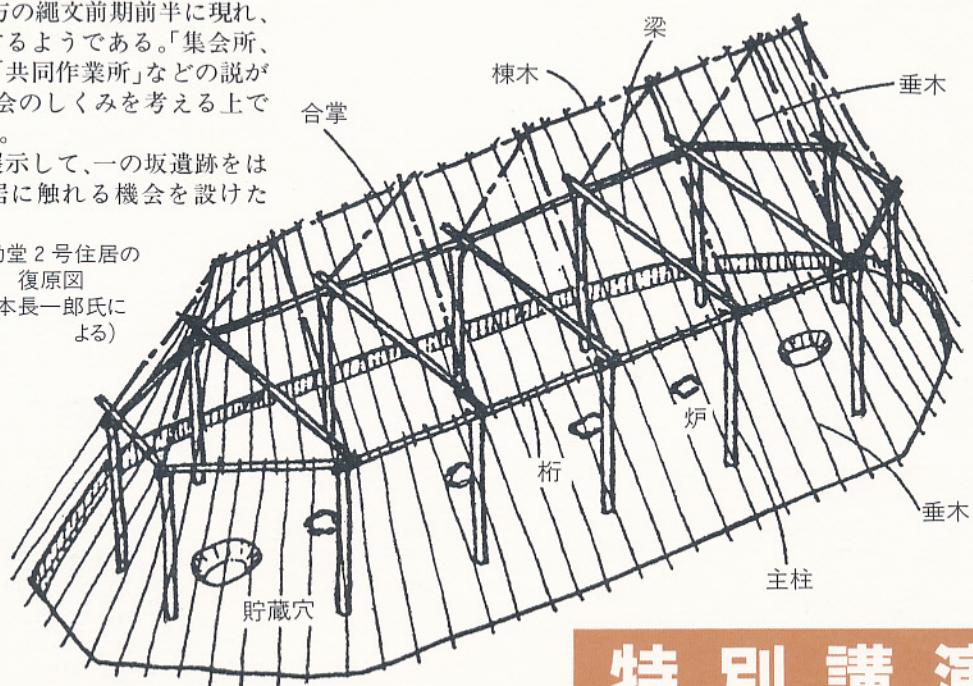
一の坂遺跡を中心に、まだ知られていない県内の巨大住居も取り上げてみた。

縄文時代の普通の竪穴住居跡は、長さや直径が4~5mである。1973年に富山県不動堂遺跡から直径17mという超大型の竪穴が発見されてから、東北、北陸を中心にこのような大型の住居跡が注目されるようになった。

これらは、東北地方の縄文前期前半に現れ、中期の末には消滅するようである。「集会所、公民館」「祭礼の場」「共同作業所」などの説がある。縄文時代の社会のしくみを考える上では貴重な資料である。

これらの資料を展示して、一の坂遺跡をはじめとする巨大住居に触れる機会を設けたい。

不動堂2号住居の
復原図
(宮本長一郎氏による)



お知らせ

体験学習へ参加してみませんか!!

◎ まほろばの古の里の古代米の田植え

6月5日(日)午後

黒米、赤米の田植えを行います。

◆ 土器つくり教室 7月3日・7月31日

縄文土器を親子や友達とつくってみませんか。

☆ 問い合わせ先 当考古資料館

☎(0238-52-2585)



特別講演

「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」

講師 秋田県埋蔵文化財センター所長

富樫泰時氏

日 時 6月4日(土)午後1時半より、当資料館研修室にて

参加者 電話にて申し込み先着70名

参加料
無料

山形県立 うきたむ 風土記の丘

考古資料館

- 住所 東置賜郡高畠町大字安久津2117
- 電話 0238-52-2585

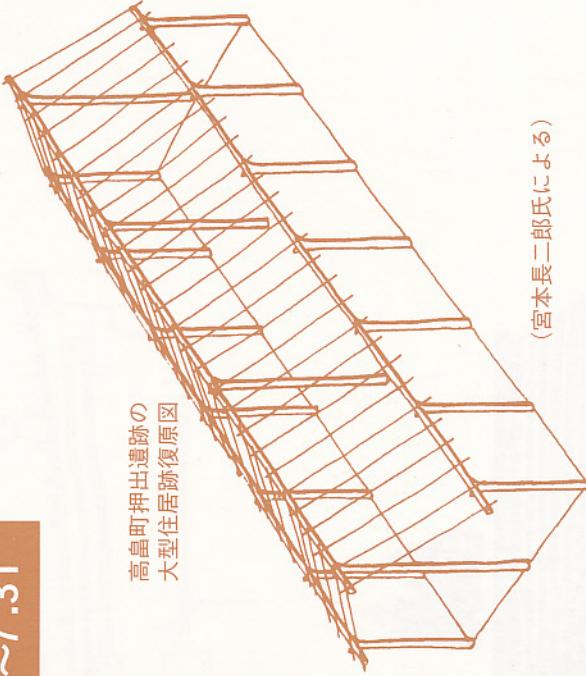
第2回企画展

主な展示資料

NO.	資 料	点数	出 土 遺 跡	保 管
1	深鉢型土器（縄文中期）	1	富山県朝日町不動堂遺跡	富山県埋蔵文化財センター
2	鉢型土器（縄文中期）	1	“	“
3	小型深鉢型土器（縄文中期）	1	“	“
4	磨製石斧及び未成品	3	“	“
5	打製石斧	2	“	“
6	敲石・磨石・砥石	3	“	“
7	擦り切り石器等	2	“	“
8	土器片（縄文前期）	30	米沢市広幡町成島窪平遺跡	米沢市教育委員会
9	三脚石器	10	“	“
10	石 鑓	10	“	“
11	石 匙	5	“	“
12	鉢型土器（縄文前期）	1	米沢市矢来一の坂遺跡	“
13	深鉢型土器（縄文前期）	1	米沢市八幡原日遺跡	まんざり会
14	両尖匕首（製作工程を示すもの）	18	米沢市矢来一の坂遺跡	米沢市教育委員会
15	石 鎧（〃）	18	“	“
16	石 匙（〃）	20	“	“
17	石 鑓（〃）	18	“	“
18	臼 玉	10	“	“
19	石 鎧	2	“	“
20	両尖匕首	2	“	“
21	石 鑓	20	“	“
22	土器片（縄文前期）	20	東根市東根小林A遺跡	(財)山形県埋蔵文化財センター
23	石器（石鎧、石匙、石椎、凹石、磨石）	20	“	“
24	深鉢型土器（縄文前期）	1	“	東根市教育委員会
25	深鉢型土器（〃）	1	“	“
				(220)

～縄文のロングハウスの
ナゾにせまる～

開催期間
'94.5.1～7.31



高畠町押出遺跡の
大型住居跡復原図

(宮本長二郎氏による)

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

第2回企画展「一の坂遺跡と巨大住居」の開催にあたって

このたびの企画展は、「一の坂遺跡と巨大住居」のテーマで開催することになりました。米沢市一の坂遺跡は、全長43.5mのロングハウスで、6000年以前の縄文時代前期の社会のあり方を考える上で、全国的に注目される大発見がありました。

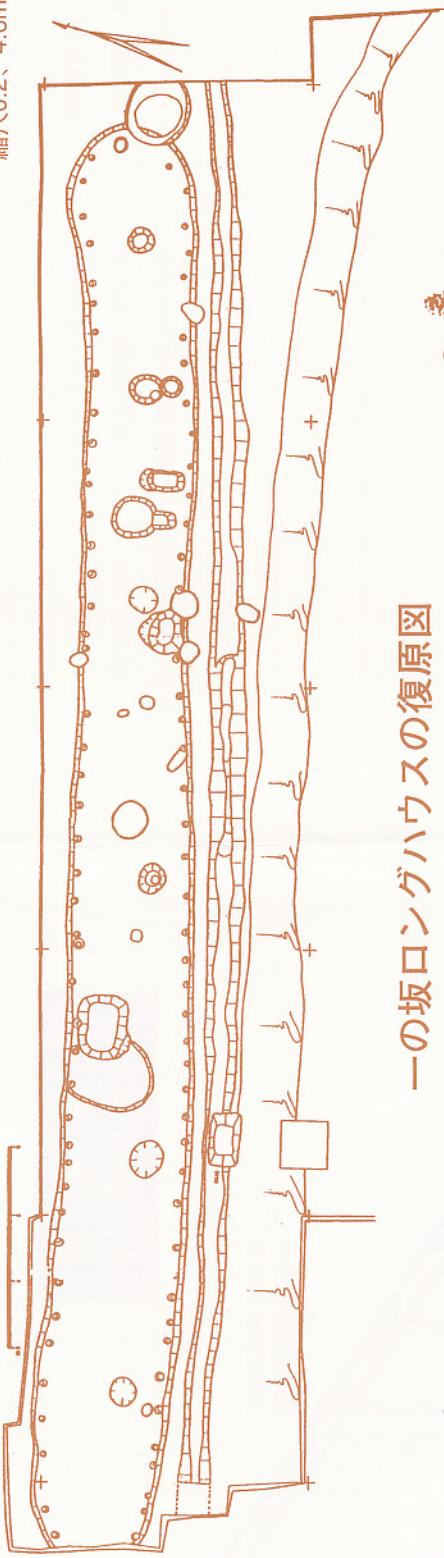
一の坂遺跡を中心に、まだ知られていない県内の巨大住居を取り上げ、最初に発見された富山県の不動堂遺跡の資料も富山県埋蔵文化財センターの御厚意で展示することができます。

展示にあたり、米沢市教育委員会をはじめとした関係各位に厚く御礼申し上げます。

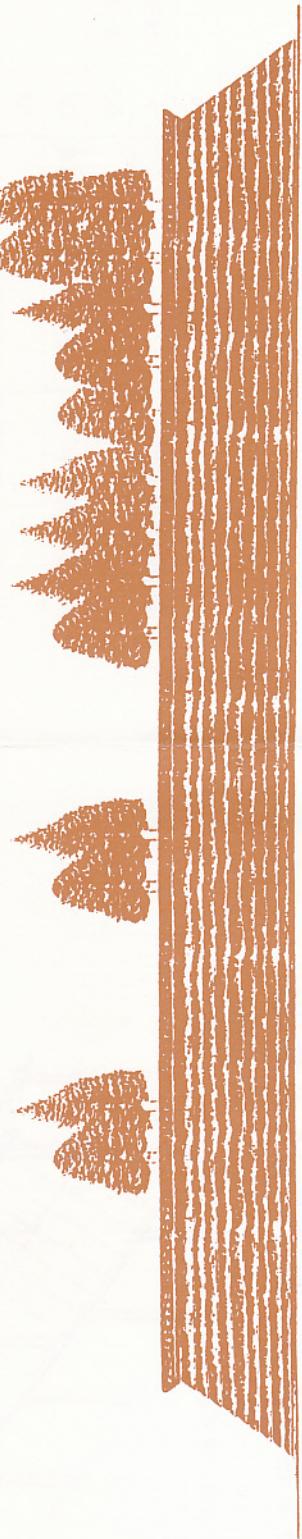
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

米沢市一の坂遺跡の巨大住居跡

(米沢市教委による)
縮尺0.2、4.6m



一の坂ロングハウスの復原図



巨大住居とは……

縄文時代の普通の竪穴住居跡は、長さや直径が4～5mである。1973年に富山県不動堂遺跡から直径17mという超大型の竪穴が発見されてから、東北、北陸を中心にしてこのような大型の住居跡が注目されるようになった。

大型住居跡は普通10m以上の大さのものと、柱穴によってわかる地上式掘立のものがある。

この遺跡は、東北地方の縄文前期前半に現れ、中期の末には消滅するようである。「集会所、公民館」「祭礼の場」「共同作業所」などの説がある。縄文時代の社会のしくみを考える上では貴重な資料である。

第2回 企画展

一の坂遺跡と巨大住居



(一の坂遺跡のロングハウス)

開催期間 '94.5.1~7.31

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

企画展「一の坂遺跡と巨大住居」開催にあたって

このたびの企画展は、「一の坂遺跡と巨大住居」のテーマで開催することになりました。米沢市一の坂遺跡は、全長43.5mのロングハウスで、6000年以前の縄文時代前期の社会のあり方を考える上で、全国的に注目される大発見がありました。

一の坂遺跡を中心に、まだ知られていない県内の巨大住居を取り上げ、最初に発見された富山の不動堂遺跡の資料も富山県埋蔵文化財センターの御厚意で展示することができました。

開催にあたり、米沢市教育委員会をはじめとした関係各位に厚く御礼申し上げます。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

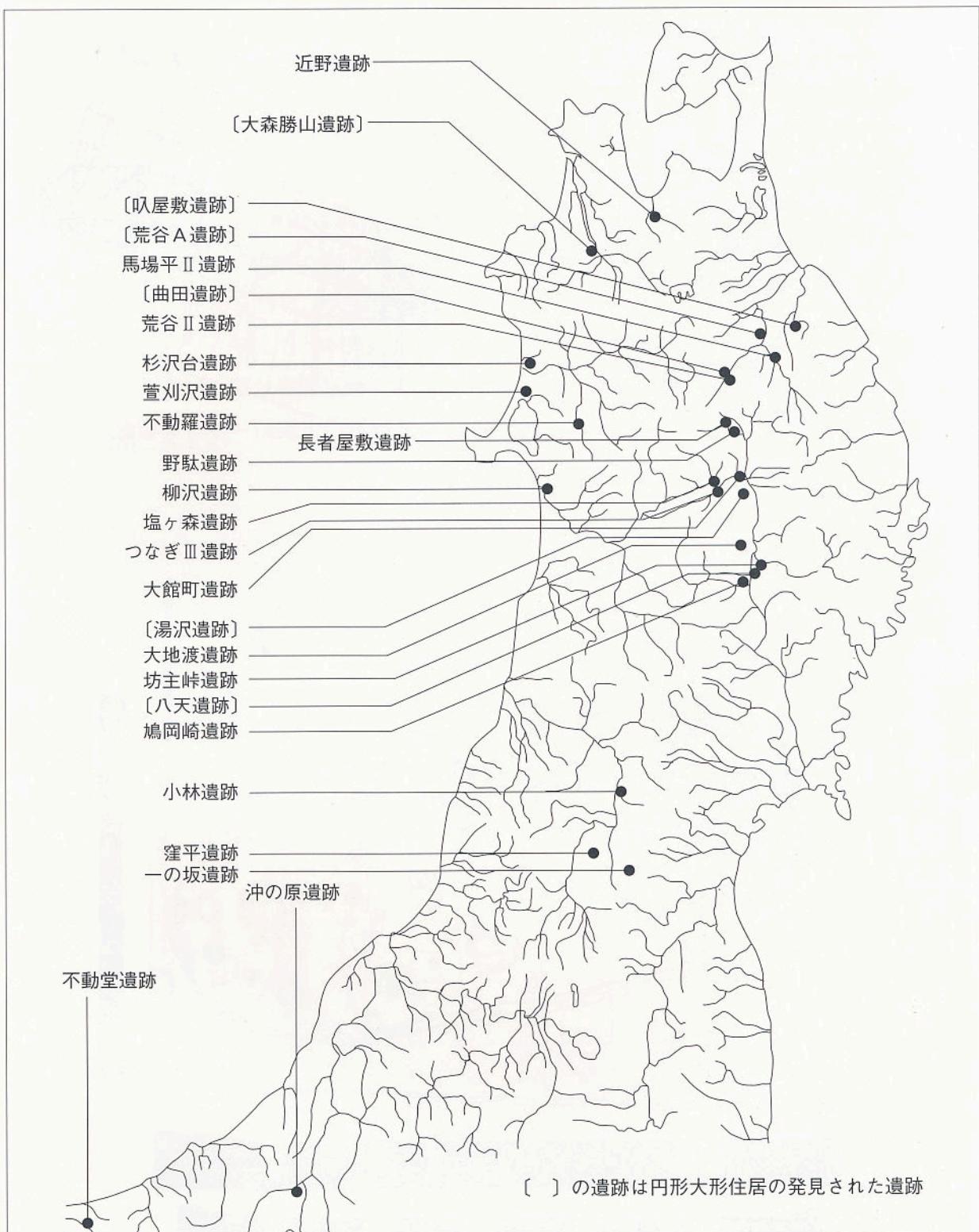
巨大住居とは……

縄文時代の普通の竪穴住居跡は、長さや直径が4～5mである。1973年に富山県不動堂遺跡から直径17mという超大型の竪穴が発見されてから、東北、北陸を中心に分布するこのような大型の住居跡が注目されるようになった。

大型住居跡は普通10m以上の大さきのものを指しているが、竪穴式のものと、柱穴によってわかる地上式掘立のものがある。

この遺跡は、東北地方の縄文前期前半に現れ、中期の末には消滅するようである。「集会所、公民館」「祭礼の場」「共同作業所」などの説がある。縄文時代の社会のしくみを考える上では貴重な資料である。

日本における竪穴式大型住居の分布図



—「縄文文化の研究8」中村良幸に追加—

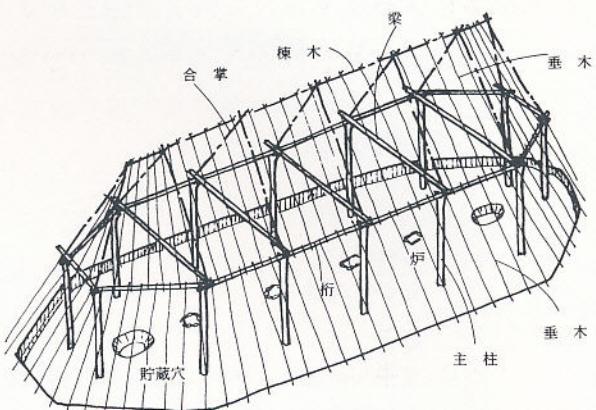
富山県不動堂遺跡

1973年（昭和48）に新潟県との県境に近い朝日町不動堂遺跡で、日本で初めての巨大な竪穴住居が発掘された。長さ17m、幅8m、総面積約115m²である。

内部には14個の直径・深さとも1m余りの柱穴がめぐり、長軸線上に4基の石囲い炉が並ぶ。時期は縄文中期の前半で、およそ5000年前である。

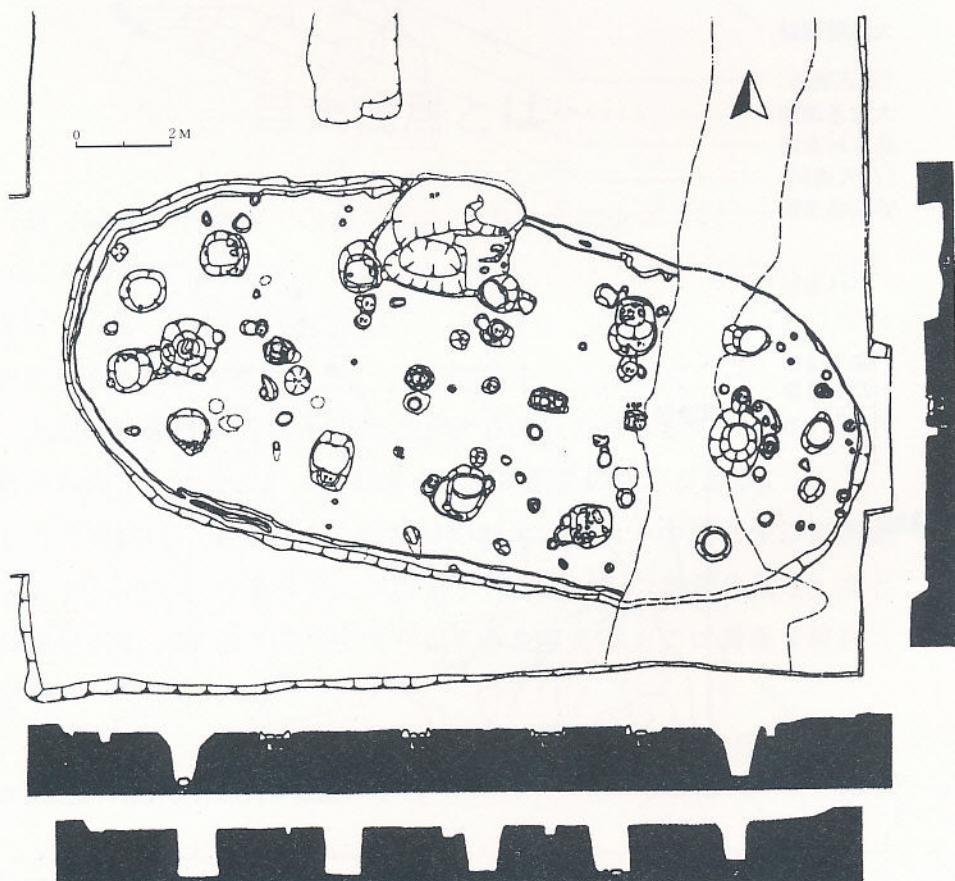
これについては、冬の共同作業所、あるいは祭礼場という説もある。

不動堂2号住居跡の復原図



—宮本長二郎氏による—

富山県不動堂遺跡の2号住居跡



—富山県埋蔵文化センターによる—

窟平遺跡

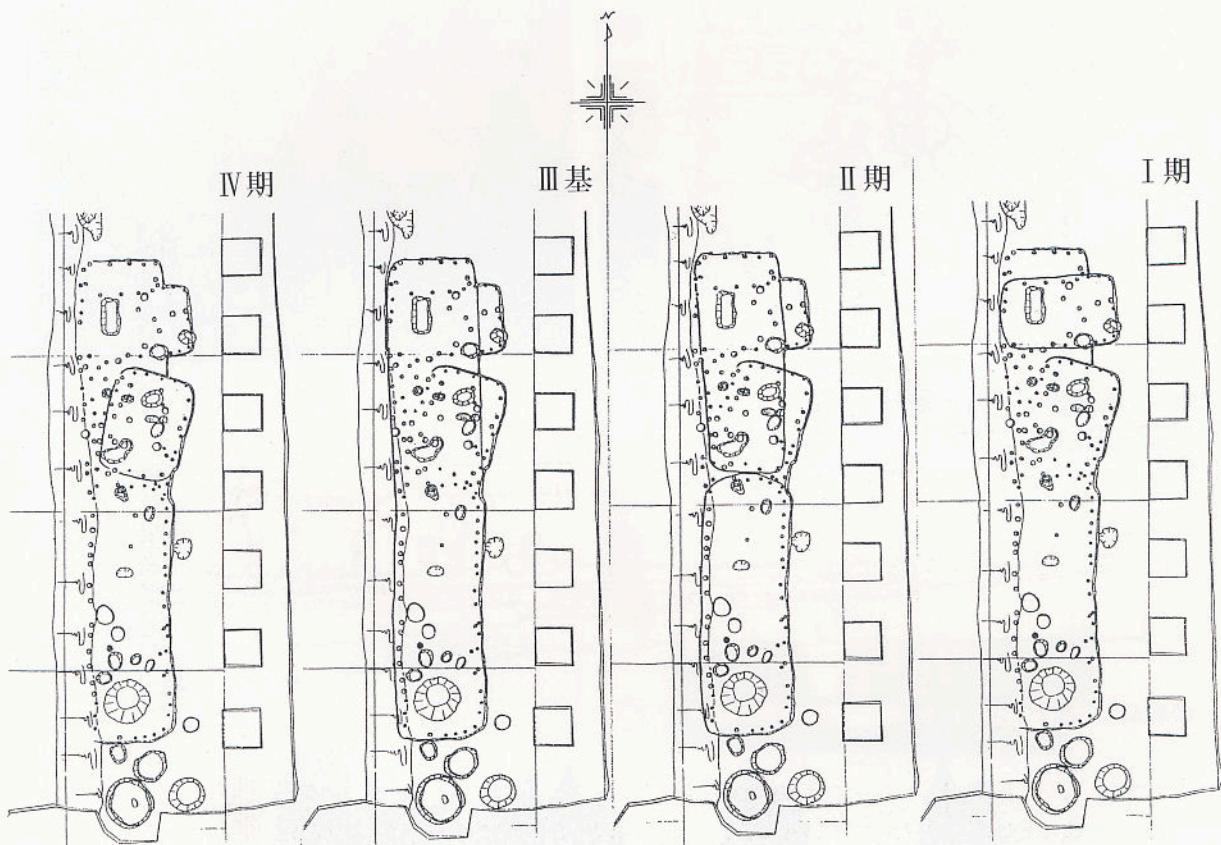
米沢市広幡町成島にある縄文時代前期の初めころの遺跡。1992年から93年にかけ、市教委によって緊急発掘調査が行われた。

これまで15軒の重複する長方形の竪穴住居跡や多数の土塙が発掘された。これに伴って三脚石器などの特徴ある石器や前期初頭や中葉の土器が出土している。

特に1992年の秋に発掘された長方形の大型竪穴住居跡は、長辺24.6m、短辺4.5mで、内部に柱穴や二つの炉跡がみつかっている。前の時期に二基続いている竪穴住居跡が一つにまとめられて、大型住居跡につくりかえられたものらしい。小規模な住居跡が大型化し、さらにもう一度縮小していく過程をよみとることができる。

土器の大半は、蕨状撲糸圧痕文や羽状縄文を主体とする縄文前期初頭のものである。一の坂遺跡よりも一段階古い様相を示している。

窟平遺跡住居変容図



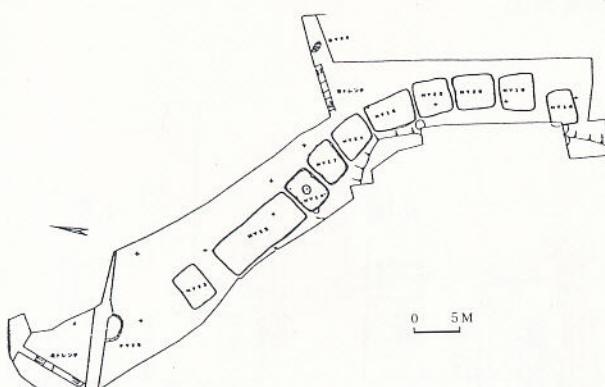
一の坂遺跡

1989年（平成元）に米沢市の市街地西部、大字矢来の台地から巨大な竪穴が米沢市教育委員会によって発掘された。

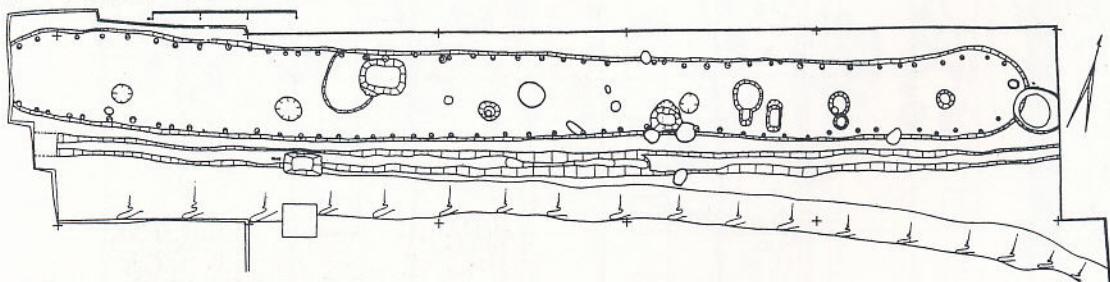
長さ43.5m、幅3.85~4.20mの長い楕円形をなし、まわりには1mの間隔で柱穴が並んでいた。床は湿気を防ぐために粘土を敷き詰め、中央部には地面をくぼめた地床炉が6ヶ所で確かめられた。この周辺からは竪穴住居跡や土塙が見つかっている。

さらに1992年~93年には、その東南から10棟の方形や長方形の竪穴住居跡が軒を接して連なる「連房式住居群」が発掘され話題をよんだ。これまでこのような例はなく、いろいろな説がある。出土した遺物から、6500年前の縄文前期初頭の遺跡とみられる。

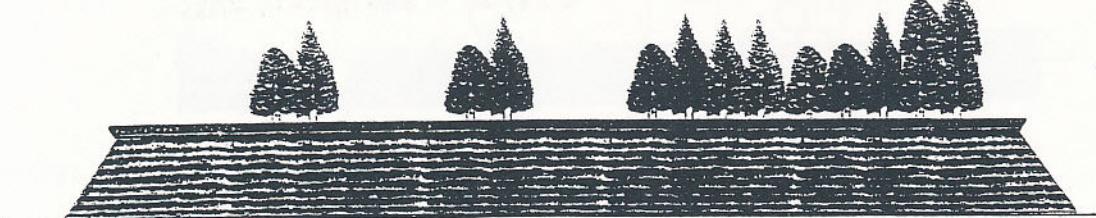
一の坂遺跡の連房式竪穴住居跡



米沢市一の坂遺跡の大型住居跡



一の坂ロングハウス復原図

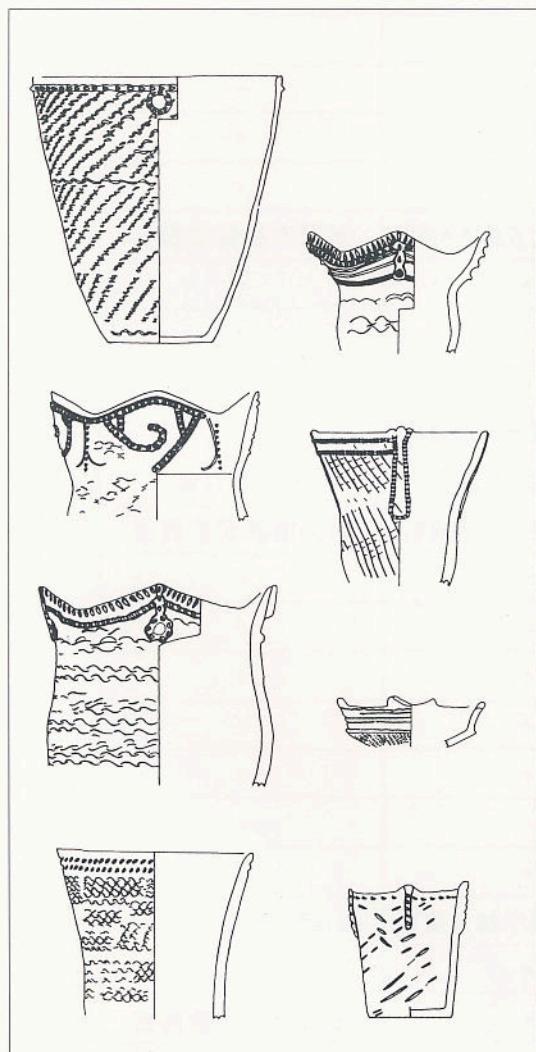


(米沢市教委による)

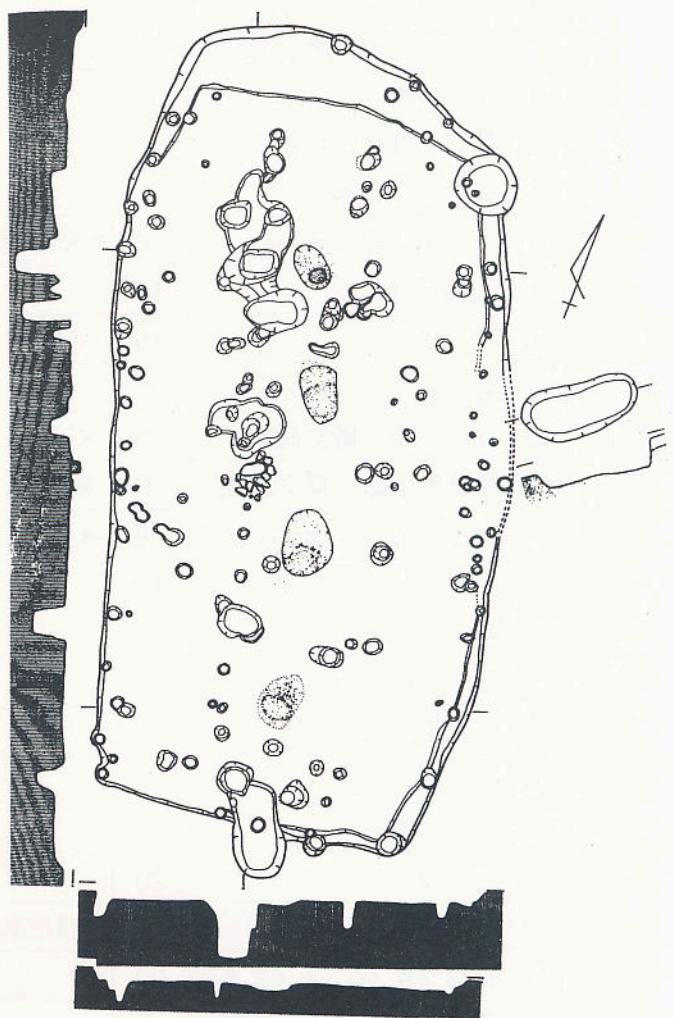
小林A遺跡

東根市街の北、今は工業団地の中にある遺跡である。小林A遺跡は縄文前期、小林B遺跡は環状列石（ストンサークル）を伴う縄文中期のムラの跡である。

小林A遺跡からは、10m×4.7mの不整長方形の竪穴住居が発見された。内部に凹石や磨石を並べた配石遺構も見つかっているので、当時の祭りと関連する大型住居かもしれない。縄文前期中ごろの遺跡である。



小林A遺跡出土土器
(東根市教委「小林遺跡」1978)



小林A遺跡2号住居跡
—県教委「小林遺跡」(1975)による—

主 な 展 示 資 料

NO.	資 料	点数	出 土 遺 跡	保 管
1	深鉢型土器（縄文中期）	1	富山県朝日町不動堂遺跡	富山県埋蔵文化財センター
2	鉢型土器（縄文中期）	1	〃	〃
3	小型深鉢形土器（縄文中期）	1	〃	〃
4	磨製石斧及び未成品	3	〃	〃
5	打製石斧	2	〃	〃
6	敲石・磨石・砥石	3	〃	〃
7	擦り切り石器等	2	〃	〃
8	土器片（縄文前期）	30	米沢市広幡町成島窪平遺跡	米沢市教育委員会
9	三脚石器	10	〃	〃
10	石 鏃	10	〃	〃
11	いし さじ 石 匙	5	〃	〃
12	鉢形土器（縄文前期）	1	米沢市矢来一の坂遺跡	〃
13	深鉢形土器（縄文前期）	1	米沢市八幡原B遺跡	まんぎり会
14	あい くち 両尖匕首（製作工程を示すもの）	18	米沢市矢来一の坂遺跡	米沢市教育委員会
15	いし もり 石 銛（〃）	18	〃	〃
16	石 匙（〃）	20	〃	〃
17	石 鏃（〃）	18	〃	〃
18	臼 玉・管玉	10	〃	〃
19	石 銛	2	〃	〃
20	両尖匕首	2	〃	〃
21	石 鏃	20	〃	〃
22	土器片（縄文前期）	20	東根市東根小林A遺跡	(財)山形県埋蔵文化財センター
23	石器（石鏃、石匙、石搶、凹石、磨石）	20	〃	〃
24	深鉢形土器（縄文前期）	1	〃	東根市教育委員会
25	小型深鉢形土器（〃）	1	〃	〃
		(220)		